

平成25年度 鶴岡市バイオクラスター形成に向けた取り組み

※H24実績含む

1. 鶴岡バイオクラスター形成プロジェクト事業

(1) バイオ産業の推進

【体制】

① バイオ産業推進室の設置

i. 産業化プロデューサーの配置

市政推進課、県コーディネーター及び慶應先端研産学官連携コーディネーターとの連携を図りながら、各種事業を展開する（1名）。

【事業】

② 産業誘導・産業形成促進・共同研究創出

i. 事業シーズ探索活動

山形県バイオクラスター形成推進会議等の議論を踏まえ、新たな視点から、より具体的な事業シーズを探索する諸活動を行う。

ii. 産学官研究交流推進事業 ※県・庄内地域産業振興センター協同事業

バイオ分野における産学官連携の取り組みを全県的なものとし、バイオ研究シーズを活用した新たな共同研究プロジェクトの推進を目的として、山形県と庄内地域産業振興センターと協同し、研究者等の研究交流会、研究成果発表や連絡会議等を開催する。

※H24からの継続事業

iii. 市先端研究産業支援センターへの誘致活動・情報収集

市先端研究産業支援センター拡張棟への誘致活動を行うとともに、バイオ産業化に資する最新情報収集活動を行う。

③ 地元企業等との共同研究の促進

i. 「鶴岡漢方プロジェクト」

漢方生薬の産地化に向け、試験栽培を中心とした諸事業に取り組み、漢方生薬栽培方法の知見獲得を目指す。

※H24実績 生薬試験栽培を開始、栽培検討会議の開催、漢方生薬シンポジウムの開催

ii. 「慶大鶴岡藻類コレクションを用いた化粧品原料開発プロジェクト」

慶應先端研で選定を行った化粧品原料を採取するのに優良な微細藻から、脂質・機能性成分の抽出方法の検討、培養方法の検討、有効性評価等を行う。

※H24実績 優良な藻株の選定、有効性評価試験の実施

iii. 共同研究シーズ事業化支援事業 ※県・HMT協同事業

メタボローム解析技術の普及を目的として、県内企業の慶應先端研等との共同研究による新製品・新技術開発等の芽だし及び共同研究成果を活用した具体的な事業化の取り組みを、県とHMTと協同で支援する。

④ 地元企業高度化・新産業開拓事業の展開

i. 「鶴岡メディカルビジネスネット」

地域医療・福祉関係機関への視察と意見交換会を実施し、医療現場従事者が抱える問題や課題を整理し、その解決に資する機器開発に取り組む。

※平成24年度納品実績 患者ごとの薬を一括管理できる運搬用カート、点滴スタンド用電源タップフォルダー、車椅子・歩行器と点滴台接続用具など9品目を医療機関などへ納品

⑤ ベンチャー企業創出・育成促進

現在、全国的にも高い評価を受け、事業拡大を続けるヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社及びスパイバー株式会社に続くベンチャー企業の創出を目指し、大学・企業連携型の創出・育成システムを検討する。また、既存ベンチャー企業の事業拡大と地域企業との共同研究案件の開発を目的とした各種調整を行う。

(2) 市民の健康長寿の推進

市民の健康長寿への取り組みとして、「鶴岡みらい健康調査」を慶應先端研、地域医療関係機関及び市において協同実施する。

①鶴岡みらい健康調査の協同実施

※H24実績 平成24年4月に運用を開始（H25.5.20現在、同意者数4,612名、同意率90.4%）

i. 推進会議の開催

本調査事業の推進を目的として、関係団体間のオーソライズを図りながら、本調査事業の進捗・運営管理や本調査事業の推進に資する諸案件を検討する「推進会議」を開催する。

※平成25年3月16日に推進会議を設置・開催

ii. 推進セミナーの開催

市民の理解促進及び市民への成果還元を目的として、本研究の概要を紹介するとともに、市で取組む意義やコホート研究が生み出す多様な可能性などについて、市民とともに考えるセミナーを開催する。

※H24実績 平成25年1月に実行委員会を設立、平成25年3月16日に第1回推進セミナーを開催

iii. 地域報告会

市民の理解促進及び成果還元を目的として、各地域における保健事業との連携のもと、市民の健康に資する情報とともに、鶴岡みらい健康調査における活動報告、成果の途中経過報告、協力の呼びかけ等を行う。

2. 第3回高校生バイオサミット in 鶴岡 開催事業

日本の科学の将来を支える新しい人材の育成と、科学技術の振興・発展を目的として、バイオサイエンスに興味・関心を持つ全国の高校生が集い、研究発表とディスカッションを行う高校生バイオサミットを開催する。

○日時：平成25年8月19～21日

○会場：庄内いこいの村 ほか

H24実績 平成24年8月第2回サミットを開催（発表数：42作品、参加者数：115名・41校、教職員28名、表彰交付：農林水産大臣賞、環境大臣賞、科学技術振興機構賞、慶應義塾賞、県知事賞、市長賞 ほか）

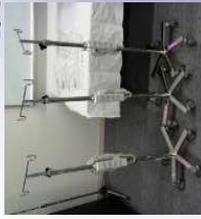
平成25年度 鶴岡市バイオクラスター形成に向けた取り組み

□地域産業に活かす

- (1) バイオ産業推進室の設置
【体制】産業化推進プロデューサーの配置
- (2) 地元企業等との共同研究の促進
○鶴岡漢方プロジェクト
○慶大鶴岡藻類コレクションを用いた化粧品原料開発プロジェクト
- (3) 地元企業高度化・新産業開拓事業の展開
○鶴岡メディカルビジネスネット



H24鶴岡漢方PJ 試験栽培開始



H24鶴岡MBnet 医療・福祉関連機器の開発

技術活用

□健康長寿に活かす

- (1) 鶴岡みらい健康調査の協同実施
【体制】慶應先端研・地域医療関係機関・市
○推進会議の開催
○推進セミナーの開催
○地域報告会の開催



H24鶴岡みらい健康調査 スタート

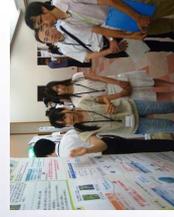
<鶴岡みらい健康調査の概要>

- ・鶴岡市在住または在勤の35歳以上74歳以下の住民を対象とし、人間ドック健診等を受診する際に、血液・尿の試料提供とアンケート調査にご協力を頂くもの（3年間で1万人を目標）
- ・試料を最先端のメタボローム解析技術などにより分析（世界初の取り組み）
- ・がん、糖尿病などの生活習慣病の予防、早期発見に有効な検査技術等を開発し、県民・市民の健康づくりに活かす

慶應先端研が持つ
研究成果・
教育機能を

□人材育成、啓蒙・啓発に活かす

- (1) 第3回高校生バイオサミットin鶴岡開催事業
【体制】高校生バイオサミット実行委員会
（構成：慶應先端研・山形県・鶴岡市）



H24高校生バイオサミット 全国から約150名の高校生・指導教諭が鶴岡市に集結

□ベンチャー企業の創出に活かす

- (1) ベンチャー企業創出・育成促進
- (2) 既存ベンチャー企業の事業拡大を
目的とした諸調整

H24日経ビジネス日本を救う次世代ベンチャー100に
HIMTとスパイバーが選定される



人材育成

啓蒙啓発

企業創出 事業拡大